

第12回  JSRD
The Japanese Society of Recklinghausen Disease

日本レックリングハウゼン病学会学術大会

The 12th Annual Meeting of the Japanese Society of Recklinghausen Disease

プログラム抄録集



テーマ 治療への展望

- 日時** 2021年2月21日(日)9:50~14:30
- 場所** オンライン
- 会頭** 今福 信一 福岡大学医学部皮膚科学教室
- 事務局** 福岡大学医学部皮膚科学教室

Recklinghausen

日程表

令和3年2月21日（日）

9:00		
	9:15~9:45	理事会
		9:40- 午前の演者の接続確認
10:00	9:50~10:00	開会の辞 大会会頭：今福 信一
	10:00~10:10	新理事長挨拶 西田 佳弘
	10:10~11:10	一般演題 1 座長：松尾 宗明 演題1 山本 美佐 演題2 生田 国大 演題3 小野 竜輔 一般演題 2 座長：吉田 雄一 演題4 坂口 萌 演題5 吉田 雄一
11:00	11:10~12:30	シンポジウム 座長：今福 信一 治療への展望 シンポジウム1 金田 眞理 シンポジウム2 西田 佳弘
12:00	12:30~13:00	昼食休憩
		12:50- 午後の演者の接続確認
13:00	13:00~13:20	患者会からのメッセージ 大河原さん 菅原さん
	13:20~14:20	一般演題 3 座長：佐谷 秀行 演題6 左 信哲 演題7 緒方 大 一般演題 4 座長：貴志 和生 演題8 川崎 彩加 演題9 村上 英邦 演題10 古賀 文二
14:00	14:20~14:30	閉会の辞 次期会頭
15:00		

第12回日本レックリングハウゼン病学会学術大会プログラム
令和3年2月21日（日）

9 : 50~10 : 00

開会の辞

大会会頭 今福 信一

10 : 00~10 : 10

新理事長挨拶

西田 佳弘

10 : 10~11 : 10

一般演題 1

座長：松尾 宗明

演題 1 : 神経線維腫瘍増殖における疾患特異的マスト細胞の機能解明

Heterogeneous mast cells and tumor proliferation in neurofibromas

山本 美佐、児玉 雅季、中村 圭佑、有富 理那、河野 裕夫

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報検査学領域

演題 2 : 神経線維腫による過成長のため四肢長差をきたした小児神経線維腫症1型の治療経験

Unilateral limb overgrowth associated with neurofibroma in pediatric patients with neurofibromatosis type 1

生田 国大^{1,2}、西田 佳弘^{1,3}、酒井 智久¹、小池 宏¹、杉浦 喬也¹、今釜 史郎¹

¹名古屋大学整形外科 ²名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター

³名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科

演題 3 : 肥大型心筋症を合併した神経線維腫症I型の1例

A case of neurofibromatosis 1 with hypertrophic cardiomyopathy

小野 竜輔¹、森貞 直哉^{2,5}、須藤 麻貴子⁴、大北 裕³、平田 健一⁴、飯島 一誠³、
錦織 千佳子¹

¹神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野 ²兵庫県立こども病院 臨床遺伝科

³神戸大学大学院医学研究科 外科学講座心臓血管外科学分野 ⁴神戸大学大学院医学研究科

内科学講座循環器内科学分野 ⁵神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野

一般演題 2

座長：吉田 雄一

演題 4：好酸球増多症候群と全身のびまん性の色素沈着を伴った神経線維腫症1型の1例
A case of neurofibromatosis-1 with hypereosinophilic syndrome and diffuse systemic pigmentation

坂口 萌、佐藤 絵美、今福 信一

福岡大学医学部皮膚科学教室

演題 5：神経線維腫症1型におけるEQ-5Dを用いた患者QOL評価の取り組み

Evaluation of quality of life in patients with neurofibromatosis 1 using the EQ-5D™

吉田 雄一¹、江原 由布子¹、¹山元 修¹、古賀 文二²、今福 信一²、太田 有史³

¹鳥取大 ²福岡大 ³東京慈恵医大

11：10～12：30

シンポジウム

テーマ：治療への展開

座長：今福 信一

シンポジウム 1

神経線維腫症 I 型の皮膚の神経線維腫に対する新規治療薬の検討

金田 眞理 大阪大学医学部皮膚科学

シンポジウム 2

叢状神経線維腫に対するMEK阻害剤セルメチニブの開発と可能性

西田 佳弘 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科

12：30～13：00

昼食休憩

13：00～13：20

患者会からのビデオメッセージ

大河原和泉さん

日本レックリングハウゼン病学会 理事長補佐

菅原由一さん

日本レックリングハウゼン病学会 理事長補佐

13 : 20~14 : 20

一般演題 3

座長：佐谷 秀行

演題 6 : 軽減した化学療法を行った視神経膠腫合併神経線維腫症1型の小児例

Clinical course of mild arranged chemotherapy for a boy having progressive optic pathway glioma with neurofibromatosis type 1

左 信哲¹、時政 定雄¹、曾我部 茉耶¹、浄弘 裕紀子²、馬場 遥香²、堀田 純子^{1,2}、濱崎 考史¹、瀬戸 俊之^{1,2}

¹大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 ²臨床遺伝学

演題 7 : Sporadic MPNSTとNF1 associated MPNSTにおける治療反応性と予後の比較

Comparison of treatment responsiveness and prognosis in Sporadic MPNST and NF1 associated MPNST

緒方 大¹、小林 英介²、並川 健二郎¹、高橋 聡¹、福島 俊²、岩田 慎太郎¹、中谷 文彦²、川井 章²、山崎 直也¹

¹国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科 ²国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科

一般演題 4

座長：貴志 和生

演題 8 : 腫瘍内出血を来したびまん性神経線維腫の1例

A case of neurofibromatosis-1 with massive intra-tumor hemorrhage in a large diffuse neurofibroma

川崎 彩加¹、佐藤 絵美¹、坂口 萌¹、山口 和記¹、鈴木 翔太郎²、高木 誠司²、今福 信一¹

¹福岡大学医学部皮膚科学教室 ²福岡大学医学部形成外科

演題 9 : 神経線維腫症 I 型の患者に生じた腫瘍内出血に対して動脈塞栓術で治療した2例

Intratumoral hemorrhage associated with neurofibromatosis type I treated with Transcatheter Arterial Embolization – two case reports

村上 英邦¹、太田 有史¹、谷戸 克己²、平山 愛里彩³、朝比奈 昭彦³

¹東京慈恵医科大学付属第三病院 皮膚科 ²佃リバーシティ皮膚科 ³東京慈恵会医科大学付属病院 皮膚科

演題10 : 神経線維腫症1型患者に生じるびまん性神経線維腫の治療の現状と問題点について

Current status and problems about treatment of diffuse plexiform neurofibroma occurred in a patient with neurofibromatosis 1

古賀 文二¹、吉田 雄一²、江原 由布子²、吉永 彬子³、高木 誠司⁴、今福 信一¹

¹福岡大学医学部皮膚科 ²鳥取大学医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野

³京都大学大学院医学研究科形成外科学 ⁴福岡大学医学部形成外科

14 : 20~14 : 30

閉会の辞

次期会頭
